

コートキーパーマニュアル

バスケットボール専門部 競技部

1 コートキーパーの仕事

バスケットボールの試合中，選手が汗をかいてコートが滑りやすくなります。競技のスムーズな運営や選手の安全確保のため，コートキーパーは大変重要な仕事です。また，コートキーパーは，選手同様，多くの観客からも見られているので，さわやかで迅速な行動も必要です。日頃から，各チームにおいて，コートキーパーのマニュアルを読んで，練習ゲームや支部大会から実践していただきたいと思います。ぜひ，各校の部活動でしっかりと練習してください。

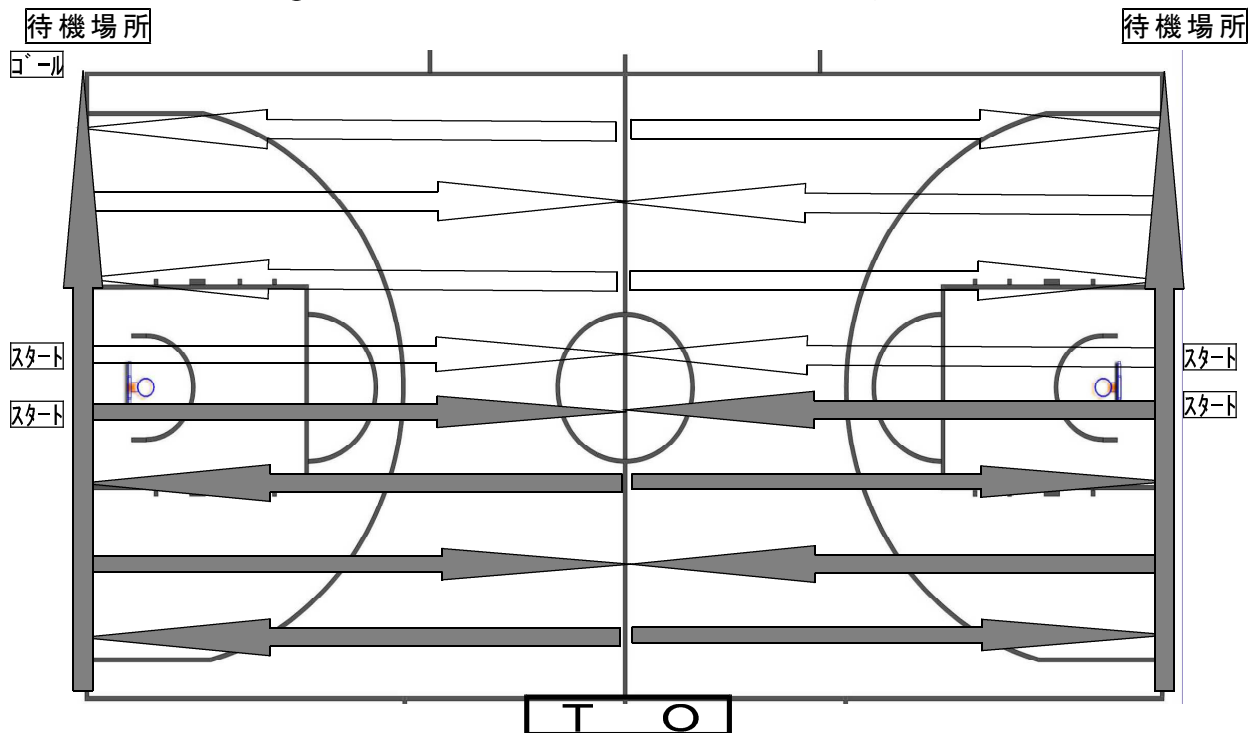
2 仕事分担と内容

- ① 1コート4名で担当する。
- ② 試合開始前（1分30秒前），第3Q開始前（1分30秒前），第1Qと第2Qの間，第3Qと第4Qの間にコート全面のモップがけを行う。
- ③ タイムアウトの時にスリーポイント内側のモップがけを行う。
- ④ 選手が転倒したときなど，雑巾で汗を拭く。

3 用具

- ① コートキーパーマニュアル
- ② モップ4本
- ③ 雑巾4枚

4 モップがけの方法①（コート全面にモップがけするときの動き）



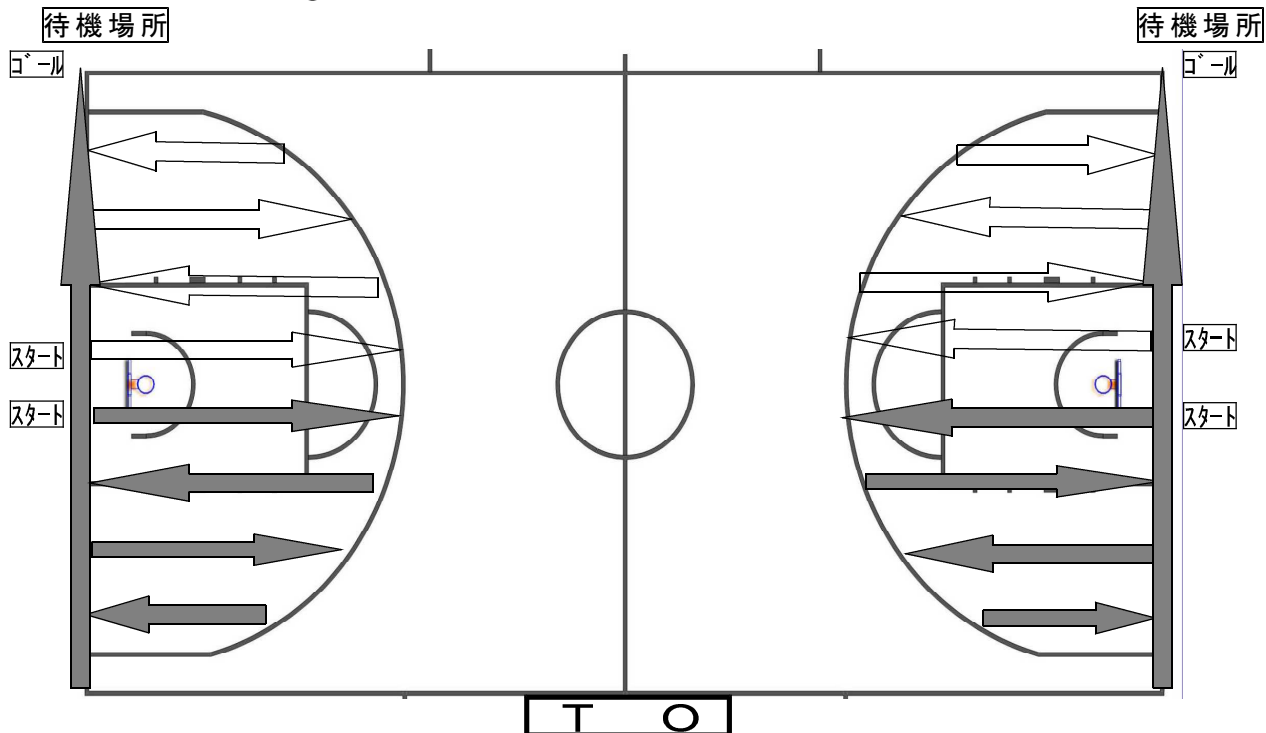
※ 4人同時にリング下で一礼してから，モップがけを開始する。

※ コーナーまでモップをかけた後，待機場所の反対側の人はエンドラインにモップをかけて待機場所のコーナーまで戻る。

※ 最後に4人同時に待機場所のイスの前でコートに一礼して座る。

※ モップを両手で持ち，走って行うこと。

5 モップがけの方法②（スリーポイント内側にモップがけするときの動き）



- ※ 4人同時にリング下で一礼してから、モップがけを開始する。
- ※ コーナーまでモップをかけたら、待機場所の反対側の方はエンドラインにモップをかけて待機場所のコーナーまで戻る。
- ※ 最後に4人同時に待機場所のイスの前でコートに一礼して座る。
- ※ モップを両手で持ち、走って行うこと。

6 雑巾がけの方法

試合中に選手が転倒し、汗でコートが滑る時に、コートキーパーの判断で汗を拭く。その時、2人で現場に行き、1人は雑巾で床を拭く、もう1人は試合の流れを見ながら、戻るタイミング（仮にまだ汗を拭いている途中でも）を判断する。この時は、コートに入るときも戻るときも一礼する必要はない。決して選手に巻き込まれないようにすること。

待機場所

